

一 般

令和 8 年度毒物劇物取扱者試験問題

三 重 県

問題は、指示があるまで開いてはいけません。

(注意事項)

- 1 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を忘れずに正しく記入してください。
- 2 試験問題は、『法規』、『基礎化学』、『性状・貯蔵・取扱方法』、『実地』で 20 問です。
- 3 解答方法は、マークシート方式です。解答用紙の(1)から(80)について、それぞれ選択肢から 1 つだけ選んでください。
- 4 問題文中で法律等の文章を引用及び抜粋する場合、促音等の記述は、現代仮名遣いとし、小文字で記載しています。
【例】「あつては、」→「あつては、」
- 5 問題文中における、「常温」は 15～25℃、「常圧」は 1 気圧であるとして、解答してください。
- 6 試験終了後は、解答用紙を机上に置き、静かに退場してください。
- 7 問題用紙は、持ち帰ってもかまいません。
- 8 受験票は、必ず持ち帰ってください。
- 9 試験問題は、令和 8 年 4 月 1 日現在施行されている法令に基づき出題しています。

令和8年度毒物劇物取扱者試験問題	一 般	法 規
------------------	-----	-----

問1 次の文は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。条文中の（ ）の中に入る語句として正しいものを下欄から選びなさい。

第1条

この法律は、毒物及び劇物について、保健衛生上の見地から必要な（（1））を行うことを目的とする。

第3条

3 毒物又は劇物の販売業の登録を受けた者でなければ、毒物又は劇物を販売し、授与し、又は販売若しくは授与の目的で（（2））し、運搬し、若しくは陳列してはならない。（以下、略）

第4条

3 製造業又は輸入業の登録は、（（3））ごとに、販売業の登録は、（（4））ごとに、更新を受けなければ、その効力を失う。

下欄

（1）	1 指導	2 管理	3 監視	4 取締
（2）	1 小分け	2 貯蔵	3 所持	4 加工
（3）	1 3年	2 5年	3 6年	4 10年
（4）	1 3年	2 5年	3 6年	4 10年

問 2 次の文は、毒物及び劇物取締法第 12 条の条文の一部である。条文中の（ ）の中に入る語句として正しいものを下欄から選びなさい。

第 12 条

毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物又は劇物の容器及び被包に、
「（ （5） ）」の文字及び毒物については（ （6） ）をもって「毒物」
の文字、劇物については（ （7） ）をもって「劇物」の文字を表示しなければならぬ。

2 毒物劇物営業者は、その容器及び被包に、左に掲げる事項を表示しなければ、
毒物又は劇物を販売し、又は授与してはならない。

一 毒物又は劇物の名称

二 毒物又は劇物の（ （8） ）

三 厚生労働省令で定める毒物又は劇物については、それぞれ厚生労働省令で
定めるその解毒剤の名称

四 毒物又は劇物の取扱及び使用上特に必要と認めて、厚生労働省令で定める
事項

下欄

(5)	1 医薬部外	2 医療用外	3 有害	4 医薬用外
(6)	1 赤地に白色		2 黒地に白色	
	3 白地に赤色		4 白地に黒色	
(7)	1 赤地に白色		2 黒地に白色	
	3 白地に赤色		4 白地に黒色	
(8)	1 成分		2 成分及びその毒性	
	3 成分及びその含量		4 成分、毒性及びその含量	

問3 次の文は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。条文中の（ ）の中に入る語句として正しいものを下欄から選びなさい。

第8条

次の各号に掲げる者でなければ、前条の毒物劇物取扱責任者となることができない。

一 薬剤師

二 厚生労働省令で定める学校で、（（9））に関する学課を修了した者

三 都道府県知事が行う毒物劇物取扱者試験に合格した者

2 次に掲げる者は、前条の毒物劇物取扱責任者となることができない。

一 （（10））の者

二 心身の障害により毒物劇物取扱責任者の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの

三 麻薬、大麻、あへん又は覚せい剤の中毒者

四 毒物若しくは劇物又は薬事に関する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終り、又は執行を受けることがなくなった日から起算して3年を経過していない者

第17条

毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、その取扱いに係る毒物若しくは劇物又は第11条第2項の政令で定める物が飛散し、漏れ、流れ出し、染み出し、又は地下に染み込んだ場合において、（（11））の者について保健衛生上の危害が生ずるおそれがあるときは、直ちに、その旨を（（12））に届け出るとともに、保健衛生上の危害を防止するために必要な応急の措置を講じなければならない。

下欄

（9）	1 物理学	2 応用化学	3 毒性学	4 生物学
（10）	1 18歳未満		2 18歳以下	
	3 20歳未満		4 20歳以下	
（11）	1 多数		2 不特定又は多数	
	3 不特定かつ多数		4 不特定	
（12）	1 消防機関		2 保健所	
	3 警察署		4 保健所、警察署又は消防機関	

問4 次の(13)～(16)の設問について答えなさい。

(13) 次の文は、毒物及び劇物取締法第3条の3の条文である。条文中の()の中に入る語句として正しい組合せを下欄から選びなさい。

第3条の3

((a))、幻覚又は麻酔の作用を有する毒物又は劇物（これらを含む。）であって政令で定めるものは、みだりに摂取し、若しくは吸入し、又はこれらの目的で((b))してはならない。

下欄

	(a)	(b)
1	興奮	所持
2	興奮	購入
3	鎮静	所持
4	鎮静	購入

(14) 次の文は、毒物及び劇物取締法第15条に規定する毒物又は劇物の交付の制限等に関する記述である。()の中に入る語句の正しい組合せを下欄から選びなさい。

- ・毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を((a))未満の者に交付してはならない。
- ・毒物劇物営業者は、厚生労働省令の定めるところにより、その交付を受ける者の氏名及び((b))を確認した後でなければ、引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物であって政令で定めるものを交付してはならない。

下欄

	(a)	(b)
1	18歳	住所
2	18歳	職業
3	20歳	住所
4	20歳	職業

(15) 毒物及び劇物取締法第3条の4に規定する政令で定められているものを下欄から選びなさい。

参考：毒物及び劇物取締法第3条の4

引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物であつて政令で定めるものは、業務その他正当な理由による場合を除いては、所持してはならない。

下欄

1 黄 ^{りん} 燐	2 ニトロベンゼン
3 ふっ化アンモニウム	4 ナトリウム

(16) 次の文は、毒物及び劇物取締法に規定する毒物劇物営業者の届出に関する記述である。記述の正誤について、正しい組合せを下欄から選びなさい。

- a 毒物劇物販売業者が、毒物劇物取扱責任者を変更したときは、30日以内に毒物劇物取扱責任者の氏名を届け出なければならない。
- b 毒物劇物製造業者が、毒物又は劇物を製造し、貯蔵する設備の重要な部分を変更したときは、30日以内にその旨を届け出なければならない。
- c 毒物劇物製造業者が、登録を受けた毒物又は劇物以外の毒物又は劇物を製造したときは、30日以内に製造した毒物又は劇物の品目を届け出なければならない。

下欄

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正

問5 次の(17)～(20)の設問について答えなさい。

(17) 次の文は、毒物及び劇物取締法施行令第40条の5第2項の規定に基づき、車両（道路交通法（昭和35年法律第105号）第2条第8号に規定する車両をいう。）を使用して、20%の硫酸を、1回につき6,000kg運搬する場合の運搬方法に関する記述である。記述の正誤について、正しい組合せを下欄から選びなさい。

- a 車両には、事故の際に応急の措置を講ずるために必要な保護手袋、保護衣等を、最低1人分は備えなければならない。
- b 0.3メートル平方の板に地を黒色、文字を黄色として「毒」と表示した標識を、車両の前後の見やすい箇所に掲げなければならない。

下欄

	a	b
1	正	誤
2	正	正
3	誤	正
4	誤	誤

(18) 毒物及び劇物取締法施行令第40条の9第1項の規定に基づき、毒物劇物営業者が毒物又は劇物を販売し、又は授与する時までに、譲受人に対し提供しなければならない情報について、同法施行規則第13条の12に規定されている内容として、正しい組合せを下欄から選びなさい。

- a 火災時の措置
- b 盗難・紛失時の措置
- c 毒性に関する情報
- d 情報を提供する毒物劇物取扱責任者の氏名

下欄

1	(a、b)	2	(a、c)	3	(b、d)	4	(c、d)
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(19) 次の文は、毒物及び劇物取締法第21条に規定する登録が失効した場合の措置に関する記述である。()の中に入る語句の正しい組合せを下欄から選びなさい。

- ・毒物劇物営業者は、その営業の登録が効力を失ったときは、((a))以内に、現に所有する((b))の品名及び数量を届け出なければならない。

下欄

	(a)	(b)
1	1 5 日	特定毒物
2	3 0 日	毒物及び劇物
3	1 5 日	毒物及び劇物
4	3 0 日	特定毒物

(20) 次の文は、毒物及び劇物取締法第11条の条文の一部である。条文中の()の中に入る語句として正しいものを下欄から選びなさい。

第11条

- 4 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物又は厚生労働省令で定める劇物については、その容器として、((20))の容器として通常使用される物を使用してはならない。

下欄

1 危険物	2 医薬品	3 医薬品又は医薬部外品	4 飲食物
-------	-------	--------------	-------

令和8年度毒物劇物取扱者試験問題	一 般	基礎化学
------------------	-----	------

問6 次の各問(21)～(24)について、最も適当なものを下欄から選びなさい。

(21) 次の純物質のうち、単体でないものはどれか。

下欄

1 フラーレン	2 斜方硫黄	3 硫酸	4 オゾン
---------	--------	------	-------

(22) 次のうち、電気陰性度の最も大きい元素はどれか。

下欄

1 H	2 F	3 Na	4 Cl
-----	-----	------	------

(23) 次のうち、炎色反応で青緑色を呈する元素はどれか。

下欄

1 K	2 Ca	3 Sr	4 Cu
-----	------	------	------

(24) 次の記述にあてはまる化学の法則はどれか。

「気体の水への溶解量は、温度が変わらなければ、水に接している気体の圧力に比例する」

下欄

1 ボイル・シャルルの法則	2 ヘスの法則
3 ヘンリーの法則	4 アボガドロの法則

問7 次の各問 (25) ～ (28) について、最も適当なものを下欄から選びなさい。

(25) 次の指示薬のうち、塩基性域では黄色であるが、pH 3.1 付近で赤色を呈するものはどれか。

下欄

1 リトマス	2 フェノールフタレイン
3 メチルオレンジ	4 ブロモチモールブルー

(26) 下線で示す原子の酸化数が最も大きいものはどれか。

下欄

1 $\text{H}_2\underline{\text{O}}_2$	2 $\underline{\text{S}}$	3 $\underline{\text{Sn}}\text{Cl}_4$	4 $\text{K}_2\underline{\text{Cr}}_2\text{O}_7$
--------------------------------------	--------------------------	--------------------------------------	---

(27) 一酸化炭素の生成エンタルピーは何 kJ/mol か。ただし、黒鉛、一酸化炭素の燃焼エンタルピーは、それぞれ、-394kJ/mol、-283kJ/mol とする。

下欄

1 -677kJ/mol	2 -111kJ/mol	3 111kJ/mol	4 677kJ/mol
--------------	--------------	-------------	-------------

(28) 0.30 mol/L のスクロース水溶液の 27°Cにおける浸透圧はどれか。
ただし、気体定数は、 $8.3 \times 10^3 \text{ Pa} \cdot \text{L} / (\text{mol} \cdot \text{K})$ とする。

下欄

1 $6.7 \times 10^4 \text{ Pa}$	2 $7.5 \times 10^5 \text{ Pa}$
3 $1.5 \times 10^6 \text{ Pa}$	4 $8.3 \times 10^6 \text{ Pa}$

問 8 次の各問 (29) ～ (32) について、最も適当なものを下欄から選りなさい。

(29) 次の記述について、() に入る語句の正しい組合せはどれか。

希硫酸中に銅板と亜鉛板を離して浸し、導線で結んだものはボルタ電池と呼ばれ、(a) が正極、(b) が負極となる。

この場合、電子は導線を (c) から (d) に向かって流れる。

下欄

	(a)	(b)	(c)	(d)
1	銅板	亜鉛板	亜鉛板	銅板
2	銅板	亜鉛板	銅板	亜鉛板
3	亜鉛板	銅板	亜鉛板	銅板
4	亜鉛板	銅板	銅板	亜鉛板

(30) 次の有機化合物と、その有機化合物のもつ官能基等の組合せとして、正しいものはどれか。

下欄

	有機化合物	その有機化合物のもつ官能基等
1	アセトアニリド	ヒドロキシ基
2	酢酸メチル	エステル結合
3	ベンゼンスルホン酸	アミド結合
4	ニトロベンゼン	カルボキシ基

(31) カルボニル化合物およびカルボン酸に関する記述として、正しいものはどれか。

下欄

1	カルボニル基の炭素原子に水素原子が 1 つも結合していない化合物はアルデヒドとよばれる。
2	ギ酸は酸性が弱いので、フェーリング液の還元を起こしやすい。
3	アルデヒドの沸点は、同程度の分子量をもつアルコールやカルボン酸に比べると低い。
4	アセトンはヨードホルム反応を起こさない。

(32) アミノ酸に関する記述として、正しいものはどれか。

下欄

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 カルボキシ基とアミノ基が同じ炭素原子に結合したアミノ酸はβ-アミノ酸とよばれる。2 グリシンは不斉炭素原子をもつ、中性アミノ酸である。3 1985 年のWHO（世界保健機関）の勧告によれば、ヒトの必須アミノ酸の種類は、20 種類あるとされる。4 ニンヒドリン水溶液をグリシンの水溶液に加えて温めると、青紫～赤紫色を呈する。 |
|---|

問9 次の各問(33)～(36)について、最も適当なものを下欄から選びなさい。

(33) 30℃で、水 150g に硝酸カリウム 50g を溶解させた。その後、30℃のまま水を蒸発させたとき、硝酸カリウムの結晶が析出し始めた。この時に、蒸発させた水の質量として、最も近い値はどれか。

ただし、30℃で水 100g に溶かすことができる硝酸カリウムの質量を 46g とする。

下欄

1	41 g	2	69 g	3	81 g	4	109 g
---	------	---	------	---	------	---	-------

(34) 800mL の真空容器に、ある純粋な液体物質 2.0g を入れてから 127℃にしたところ、液体はすべて蒸発して気体となり、 $8.3 \times 10^4 \text{Pa}$ の圧力を示した。この物質の分子量はいくつか。

ただし、気体定数は、 $8.3 \times 10^3 \text{Pa} \cdot \text{L} / (\text{mol} \cdot \text{K})$ とする。

下欄

1	10	2	50	3	100	4	166
---	----	---	----	---	-----	---	-----

(35) 25℃の 0.1mol/L 酢酸水溶液（電離度 0.016）の pH はどれか。

ただし、 $\log_{10} 1.6 = 0.20$ とする。

下欄

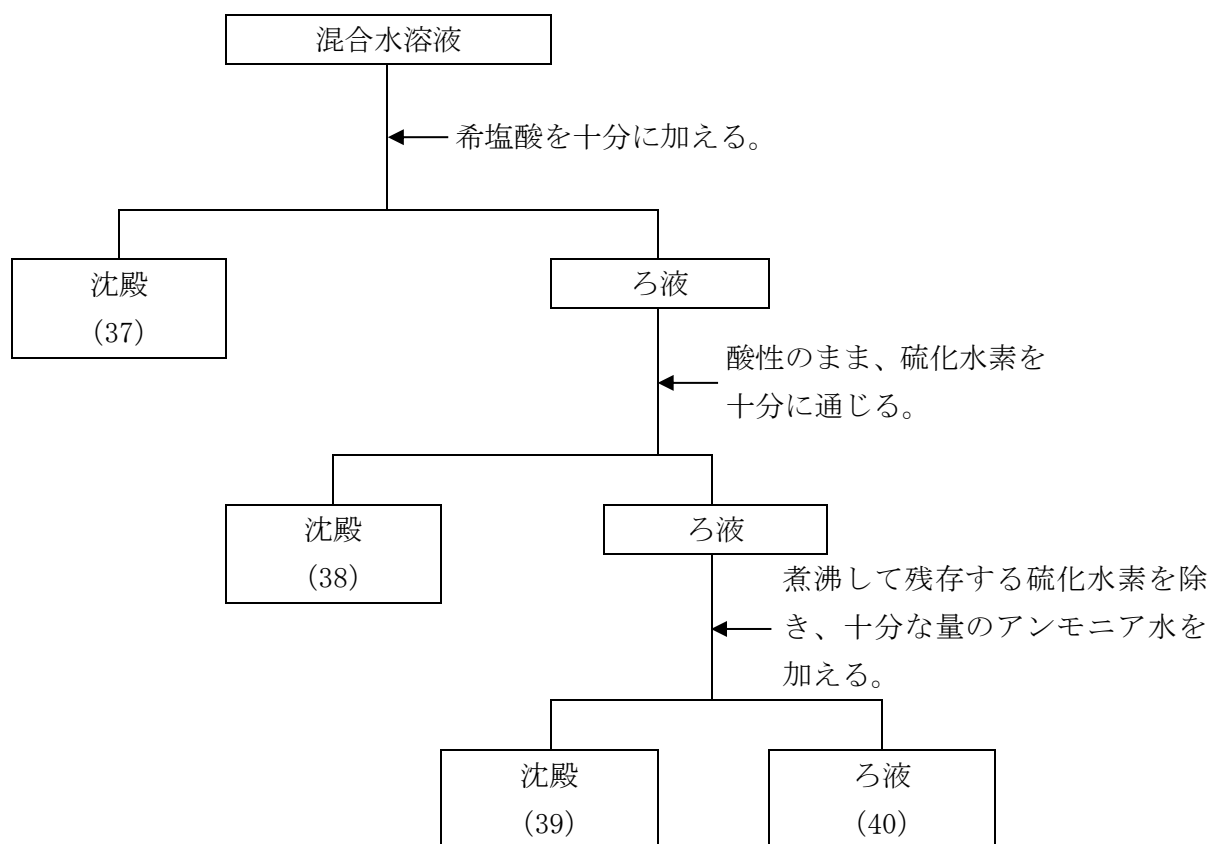
1	pH 1.6	2	pH 2.0	3	pH 2.8	4	pH 3.2
---	--------	---	--------	---	--------	---	--------

(36) 一定温度において、200kPa の酸素 8.0L と 300kPa の窒素 6.0L を、5.0L の容器に封入したとき、この混合気体の全圧はどれか。

下欄

1	179 kPa	2	375 kPa	3	500 kPa	4	680 kPa
---	---------	---	---------	---	---------	---	---------

問 10 次の図は、 Al^{3+} 、 Cu^{2+} 、 Ba^{2+} 及び Ag^{+} を含む混合水溶液から各イオンを分離する手順を示したものである。図中の (37) ～ (40) に含まれる化合物やイオンとして最も適当なものを下欄から選びなさい。



下欄

(37)	1	AlCl_3	2	CuCl_2	3	BaCl_2	4	AgCl
(38)	1	Al_2S_3	2	CuS	3	BaS	4	Ag_2S
(39)	1	$\text{Al}(\text{OH})_3$	2	$\text{Cu}(\text{OH})_2$	3	$\text{Ba}(\text{OH})_2$	4	AgOH
(40)	1	Al^{3+}	2	Cu^{2+}	3	Ba^{2+}	4	Ag^{+}

令和8年度毒物劇物取扱者試験問題	一 般	性状・貯蔵・取扱方法
------------------	-----	------------

問 11 次の物質の常温・常圧下における性状として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (41) 1, 1-ジメチルヒドラジン
- (42) 重クロム酸アンモニウム
- (43) モノゲルマン
- (44) シアン化カルシウム

下欄

- 1 無臭の橙赤色の結晶で、水によく溶け、酸性を示す。燃焼性がある。
- 2 無色又は白色の粉末で、水、熱湯に溶けにくく、アルコールにわずかに溶ける。湿った空気中では徐々に分解して、ガスを発生する。
- 3 無色の刺激臭をもつ気体で、可燃性がある。
- 4 無色ないし黄褐色透明の吸湿性の液体で、特徴ある魚臭を発する。

問 12 次の物質の貯蔵方法として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (45) シアン化カリウム
- (46) ピクリン酸
- (47) 黄^{りん}燐
- (48) アクリルニトリル

下欄

- 1 空気に触れると発火しやすいので、水中に沈めて瓶に入れ、さらに砂を入れた缶中に固定して、冷暗所に貯蔵する。
- 2 火気に対し安全で隔離された場所に、硫黄、ヨード、ガソリン、アルコール等と離して貯蔵する。鉄、銅、鉛等の金属容器を使用しない。通常、安全のため、水を含有させる。
- 3 きわめて引火しやすいため、炎や火花を生じるような器具から十分離して貯蔵する。硫酸や硝酸などの強酸と激しく反応するので、強酸と安全な距離を保つ必要がある。できるだけ直接空気に触れることを避け、窒素のような不活性ガスの雰囲気の中に貯蔵する。
- 4 少量ならばガラス瓶、多量ならばブリキ缶あるいは鉄ドラム缶を用い、酸類とは離して風通しのよい乾燥した冷所に密封して貯蔵する。

問 13 次の物質を含有する製剤は、毒物及び劇物取締法令上ある一定濃度以下で劇物から除外される。その除外される上限の濃度として、最も適当なものを下欄からそれぞれ選びなさい。

(49) 水酸化ナトリウム

下欄

1	1 %	2	5 %	3	1 0 %	4	1 5 %
---	-----	---	-----	---	-------	---	-------

(50) 硫酸

下欄

1	1 %	2	5 %	3	1 0 %	4	1 5 %
---	-----	---	-----	---	-------	---	-------

(51) アンモニア

下欄

1	1 %	2	5 %	3	1 0 %	4	1 5 %
---	-----	---	-----	---	-------	---	-------

(52) クレゾール

下欄

1	1 %	2	5 %	3	1 0 %	4	1 5 %
---	-----	---	-----	---	-------	---	-------

問 14 次の物質の化学式として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

(53) クロルエチル

(54) クロロホルム

(55) クロルピクリン

(56) アセトニトリル

下欄

1	CCl_3NO_2	2	CH_3CN
3	$\text{C}_2\text{H}_5\text{Cl}$	4	CHCl_3

問 15 次の物質の毒性として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

(57) 硝酸

(58) トルエン

(59) 蓚酸^{しゅう}

(60) モノフルオール酢酸ナトリウム

下欄

- 1 生体細胞内のT C Aサイクル阻害作用により、嘔吐^{おうと}、胃の疼痛、意識混濁、てんかん性痙攣^{けいれん}、脈拍の遅緩^{ちかん}が起こり、チアノーゼ、血圧降下が生じる。
- 2 血液中の石灰分を奪取し、神経系を侵す。急性中毒症状は、胃痛、嘔吐^{おうと}、口腔^{くう}、咽喉^{いんこう}に炎症を起こし、腎臓が侵される。
- 3 蒸気の吸入により頭痛、食欲不振等がみられる。大量では緩和な大赤血球性貧血をきたす。麻醉性が強い。
- 4 高濃度の本物質の水溶液が皮膚に触れると、ガスを発生して、組織ははじめ白く、次第に深黄色となる。液体を嚥下^{えんげ}すると、口腔^{くう}以下の消化管に強い腐食性火傷を生じ、激しい場合にはショック状態となる。

令和8年度毒物劇物取扱者試験問題	一 般	実 地
------------------	-----	-----

問 16 次の物質の用途として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (61) アクロレイン
- (62) ジメトエート
- (63) 二硫化炭素
- (64) 炭酸バリウム

下欄

- | |
|--|
| 1 陶磁器の釉薬 ^{ゆう} 、光学ガラス
2 有機リン系殺虫剤
3 医薬品、アミノ酸、香料の製造の原料
4 ビスコース人絹 ^{じんけん} （ビスコースレーヨン）の製造 |
|--|

問 17 次の物質の鑑別方法として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (65) 塩素酸カリウム
- (66) 四塩化炭素
- (67) メタノール
- (68) アニリン

下欄

- | |
|--|
| 1 熱すると酸素を発生する。水溶液に酒石酸を多量に加えると、白色の結晶性沈殿を生じる。
2 あらかじめ熱灼した酸化銅を加えると、ホルムアルデヒドができ、酸化銅は還元されて金属銅色を呈する。
3 アルコール性の水酸化カリウムと銅粉とともに煮沸すると、黄赤色の沈殿を生じる。
4 本物質の水溶液にさらし粉を加えると、紫色を呈する。 |
|--|

問 18 毒物及び劇物の品目ごとの具体的な廃棄方法として厚生労働省が定めた「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に基づき、次の毒物又は劇物の廃棄方法として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (69) ピクリン酸アンモニウム
- (70) フッ化水素酸
- (71) 過酸化水素
- (72) 臭化水素酸

下欄

1 希釈法	2 燃焼法	3 沈殿法	4 中和法
-------	-------	-------	-------

問 19 毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置の具体的な方法として厚生労働省が定めた「毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置に関する基準」に基づき、次の毒物又は劇物が漏えい又は飛散した際の措置として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (73) キシレン
- (74) クロム酸ストロンチウム
- (75) 過酸化ナトリウム
- (76) 2-クロロアニリン

下欄

1 多量に漏えいした場合、漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、液の表面を泡で覆い、できるだけ空容器に回収する。 2 漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、密閉可能な空容器にできるだけ回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。洗い流す場合には、中性洗剤等の分散剤を使用して洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。 3 飛散したものは、空容器にできるだけ回収し、そのあとを還元剤（硫酸第一鉄等）の水溶液を散布し、消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理したのち、多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。 4 飛散したものは、空容器にできるだけ回収する。回収したものは、発火のおそれがあるので速やかに多量の水に溶かして処理する。回収したあとは、多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。
--

問 20 次の物質の毒物及び劇物取締法施行令第40条の5第2項第3号に規定する厚生労働省令で定める保護具として、()内にあてはまる最も適切なものを下欄からそれぞれ選びなさい。

(77) クロルメチル

保護具：保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、((77))

下欄

1 保護眼鏡	2 有機ガス用防毒マスク
3 酸性ガス用防毒マスク	4 普通ガス用防毒マスク

(78) 臭素

保護具：保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、((78))

下欄

1 保護眼鏡	2 有機ガス用防毒マスク
3 酸性ガス用防毒マスク	4 普通ガス用防毒マスク

(79) ^{けいふつ} 硅弗化水素酸

保護具：保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、((79))

下欄

1 保護眼鏡	2 有機ガス用防毒マスク
3 酸性ガス用防毒マスク	4 普通ガス用防毒マスク

(80) 塩素

保護具：保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、((80))

下欄

1 保護眼鏡	2 有機ガス用防毒マスク
3 酸性ガス用防毒マスク	4 普通ガス用防毒マスク

